

あしだ やすひろ 泰宏

議会報告

2022/1
2023/1

最幸のまち
倉敷市へ



菅田泰宏（あしだやすひろ）プロフィール

- 1966年倉敷市生まれ ■ 県立児島高校・早稲田大学法学部卒業 ■ 学生時代にブラジル交換留学
- 総合商社三井物産で25年間勤務 元ロサンゼルス支店長 ■ 参議院議員 片山虎之助元秘書
- 平成29年より、2度倉敷市議会議員選挙に挑戦するも、連続落点 ■ 令和3年1月 初当選（全体1位）
- 児島観光ガイド協会理事、児島ライオンズクラブ理事、玉野・児島倫理法人会会長
- 晴れの国おかやま検定「達人」、行政書士資格有 好きな言葉：挑戦と創造

議会の内外で精力的に活動！ 2022年の政務活動の一部をご報告。



会派 FM 審判席中の様子



歩道に車道防止コーン設置



倉敷市駅前出初式で市長と設置



土砂崩れを繰り返す坂道の排水性改善工事



民衆に干渉する市有地草木伐採



高遮りに街灯設置



委員会視察/北州市・駅前回廊整理



児島フェス#せいのさい、学生観覧



小田川合流点付替え工事に伴う新掘井原掘削工事観覧



民衆に干渉する市有地草木伐採



高遮りに街灯設置



市内学習塾の議会見学をアテンド



ブライントサッカー体験会



議会前、議員と打ち合わせ



9月議会（ジェーンズ議会）



会派視察/千葉市・トローン産業振興

令和5年2月から保健福祉委員会に所属

1期目前半の建設消防委員会（副委員長）に続き、2月からの任期後半は保健福祉委員会に所属することになりました。同分野の政策課題への理解を深めるとともに政策決定にしっかり関与して参ります。

同時に以下の協議体の委員となりました。

- 倉敷市民生委員推薦会
- 倉敷市地域包括支援センター運営協議会
- 倉敷市自殺対策ネットワーク会議

「新風くらしき」メンバー

議員名	当選回数	所属委員会
中島光浩（議長）	4回	文化産業委員会
日向 豊（会長）	3回	建設消防委員会 委員長
尾崎勝也	1回	市民文教委員会 副委員長
平井俊光	1回	環境水道委員会 副委員長
菅田泰宏	1回	保健福祉委員会



ラジオ番組やっています！

番組名：「新風くらしき市議会ラジオ」 FMくらしき 82.8MHz
毎月第4火曜日 19:30～20:00
市議会を身近に感じて頂くため、会派のメンバーと一緒にやっています！
もうすぐ放送 20回を迎えます。

あしだは、倉敷市民の身近な問題に加え、市の財政や産業、防災、福祉、環境など、幅広い分野について質問しました。

令和4年質疑内容一部ご紹介

当週以来8度の議会で7回質問に立ち、85の質問をしました。



財政の実態解明

地方債の実態と金利上昇の影響について

Q 市債の借入先別の比率は？利率が高い民間金融機関からの借入額は？市場に金利上昇圧力の増す中、変動金利の借入額は？

A 民間金融機関は3割弱。市債の約2/3は、国及び政系金融機関からのもの。また過半が変動金利での借入だが、金利見直し期間は、9割以上が10年ごとで、金利変動を敏感に反映しにくい。※下図参照

Q もし金利が0.25%上昇した場合、いくら利払いが増加するか？それにより実質公債比率はどのくらい上昇するか？

A 令和2年末の市債残高をもとに試算すると、令和3年度に支払利子の額は、約1,538万円増加することになる。ただ、これによる令和3年度決算の実質公債費比率(2.9%)の変動はない。

地方債引受先種別と倉敷市借入額（下の金額、令和3年度末）

地方債種別	財政融資資金		財務省が財政融資資金特別会計において、財投債（国債）を発行して資金調達した資金
	公的資金 1,341億円 (68%)	801億円 (41%)	
	地方公共団体 金融機構資金	540億円 (27%)	全ての都道府県、市町村が共同で設立した地方公共団体金融機構が市場で債券を発行して調達した資金
	民間等資金 630億円 (32%)	銀行等引受資金 571億円 (29%)	指定金融機関等や、それ以外の銀行、信用金庫、農協、共済組合等から相対で借り入れ又は引受の方法により調達した資金
	市県公債資金 59億円 (3%)	地方公共団体が債券発行市場において公募により調達した資金	

倉敷市市債利率の変動／固定割合と変動利率見直し期間（令和3年度末）

種別	金額 (割合)	見直し期間	
		金額 (割合)	金額 (割合)
変動利率	1,123億円	10年	1,027億円 91%
	57%	5年	96億円 9%
固定利率	848億円		
	43%		

行政のチェック

臨時給付金誤給付事件は本市では起こらないのか

Q 山口県阿武町で発生した、住民税非課税世帯への臨時特別給付金の4,630万円の1世帯への振り込み事例について、本市ではどう回避策を講じているか？

A 臨時特別給付金室には、経験豊富な職員を配置し、支給業務にあたっては、いくつもの過程で複数人員による金額や支払先の確認を行っている。

産業振興

倉敷市の産業構造と対応

Q 政府統計によれば、倉敷市は、就業人口や事業所数で医療・福祉業界の比率が高い。どう振興していく？

A 人材育成や医療現場のDX支援、介護ロボット実証実験などを通じ後押ししたい。

海洋資源保護

魚食と海洋環境の改善

Q 漁業復活策の要となる魚食の普及をどう計る？ 漁業に適した海洋環境の改善をどう実現する？

A 魚食普及には「親子漁業体験学習」での調理実演や自由献立の活用、保健所の「食育フェア」への参加がある。海洋環境改善については、漁協、県、市で「浜の活力再生プラン」の策定を通じて推進している。

3R推進

リユースへの取り組み

Q 本来最も環境にやさしいはずのリユースに、行政としてどう取り組むのか？

A 最新の基本計画では、リデュースとリユースの2Rを優先・重視した展開を掲げた。市のリサイクル推進センターでは、家具の修理再生販売や、家庭用品再利用銀行を設置、また市のリサイクルフェアでは、リユース食器を使用したフードコートやフリーマーケットも実施している。

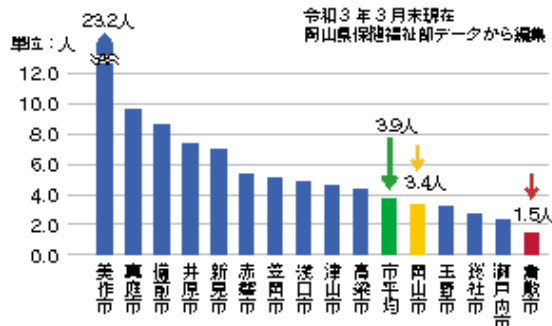
誰も取り残さない

生活困窮世帯の再建

Q コロナ対策の特例貸付は最大200万円まで借入可能だったが、住民税非課税世帯は返済不要。返済を避けるため、そのまま低収入に止まる動機も生まれかねない。多額の負債を抱えた困窮世帯の生活をどう再建する？

A 生活困窮者生活自立支援金や、臨時特別給付金の支給の他、生活自立支援相談センターで、各世帯に合わせた自立にむけたプラン作成などを行っている。

<日常生活自立支援事業人口 1万人あたり契約者数>



日常生活自立支援事業の側面支援について

Q 倉敷市社協による、認知症高齢者や知的・精神障がい者の生活を支える日常生活自立支援事業が、他の自治体と比べ大幅に見劣りする。市として側面支援できないか？ ※左図参照

A 市による養成事業を経た市民後見人のうち、希望者には日常生活自立支援事業の支援員として活動できるよう計らっている。自立支援事業の拡充につながると期待する。

大雨洪水対策

電動排水機場の停電時の対応について

Q 市内の排水ポンプの9割が電動。災害時の大規模停電の際、県指定の優先復旧先に排水機場は含まれているか？ 通電再開前に安全点検義務がある電気主任技術者は、複数施設を兼務して確認に時間を要することはないか？

A 市内排水機場の約6割を優先復旧先に指定。電気主任技術者の兼務は存在し、広範囲かつ多数箇所の点検が必要な時は不足する恐れがある。今後、業界団体による支援体制の確立など体制整備を進める。

暮らしの安全

有害野生動物対策について

Q サルの市街地での出没が相次いでいる。どう対応しているか？

A 周辺自治体にいる群れから離れたサルと思われる。通報があれば、近隣の学校園に情報提供し、警察と連携して山への追い払いを行う。市のホームページで注意喚起等も行う。

Q 住宅地に出没するイノシシから人への感染症媒介のリスクは無視できるのか？

A 一般論だが、野生動物由来の感染症のリスクは存在し、無視はできない。予防策の周知などリスクを下げることはできるので、市民への注意を呼び掛けていく。

Q 法律で定めのある鳥獣被害対策実施隊の編成など、猟友会による駆除班以外の対策の充実を進めてはどうか？

A 他市の事例等を参考に研究していく。

高齢者に優しいまち

市営墓地の通路について

Q 一部市営墓地の通路が砂利敷きであるため、車輪がとられ高齢者の手押し車や車いすでの墓参りができない。早急な改善を。

A 市民からの要望があることは把握している。必要性の高い箇所などから舗装を計画的に進めている。



観光促進

夜間観光について

Q 市営美観地区バス専用駐車場は午後5時30分で閉鎖される。営業時間の延長を。また夜景の名所である鷺羽山スカイラインの駐車場の環境美化の現状は？

A 営業時間の延長は検討する必要がある。ニーズの確認や課題の整理を観光コンベンションビューローと進める。夜景観光に鷺羽山スカイラインは重要。今後とも環境美化に努める。

9月議会

◆コロナ対策水道料金基本料2期4か月無料化

水道料金4か月分相当額を市が負担し、家庭や企業を経済的に支援する。

◆水島清掃工場自己託送事業

水島清掃工場で発電した電気を、市の公共施設で利用可能とする。

◆家庭用電気自動車導入支援事業

1台当たり15万円を300台分補助。6月の業務用電気自動車20万円×200台分補助に続く措置。

◆ため池減災、浸水対策事業補正予算計上

(9月議会+12月議会 計3億7,222万円)

ため池改修や浸水防止施設補修など

◆福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業

エネルギー価格高騰などの影響を受ける福祉事業所の負担軽減を図るため、事業種別により補助金を支給。

◆学校給食費支援事業

食品価格高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、小中学校給食費1か月分を負担。

12月議会

◆高等学校普通教室エアコン設置

市立高等学校普通教室にエアコンを設置。

◆倉敷市議会政治倫理条例制定

議員が守るべき基準を明文化。疑惑解明機関としての政治倫理審査特別委員会の設置を規定。

◆幼稚園施設整備事業

公立保育園のエアコン未設置の全保育室に設置を完了させる。

◆倉敷市議会議員費用弁償に関する条例の改定

議会開催日の交通費相当額の支給を廃止。

◆農業者向け物価高騰対策支援事業

肥料等高騰の影響を大きく受ける農業者の負担軽減するため、肥料費、種苗費等を補助。

◆電気・ガス高騰緊急対策事業

中小企業者の負担軽減を図るため、電気ガス使用量の合計額が10万円以上となる事業者に経費を補助。

◆公共施設再編/複合化プロジェクト進行中

右図(倉敷市主要公共施設再編事業)の通り。

	基本構想 R3.3完了	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
市庁舎等再編整備事業 防災棟		基本計画	事業概要 /選定	基本設計/実施設計/建設工事				
山陽ハイツ跡地 整備事業		基本計画	事業概要 /選定	基本設計/実施設計/建設工事				
児島地区公共施設 複合化構想			基本構想	基本計画	基本設計/実施設計/建設工事			

議会活動による成果が現れ始めました！

■一時多量ごみ引き取り許可制度創設

一般家庭から一時多量に発生する不要品の引き取りに関する新制度ができます。

従来、家庭の不要品やゴミを費用を払って引き取るサービスは違法で、遺品整理や子世帯への引っ越しなど、家じまいの際発生する不要品処分が大変でしたが、令和5年度から、許可を受けた業者には、これを認める条例改正を行いました。あしだは、令和3年6月議会、令和4年2月議会でこの問題を取り上げ、制度の必要性を訴えてきました。今後の高齢化社会の進展に伴い、リユース産業の育成と合わせ大きな意義のある制度となります。



■イノシシ対策を倉敷市が県に要望 自治体の枠を超えた連携に言及

倉敷市は、令和4年11月に開かれた市政懇談会で、岡山県に対しイノシシ対策の強化を要望しました。その中で、法律上、県が自治体間の協議の場を設けたり、連絡調整を行う役割があることを指摘しました。これはまさに、あしだは令和3年12月議会で、岡山県への働きかけを要望した内容です。玉野市を始めとして市境を超えるイノシシの対策には、広域での連携が必要です。

あしだは2年間で2回イノシシ対策を議会で取り上げており、今後とも重要課題の一つとして取り組んで参ります。

発行：あしだ泰宏 事務所

TEL 090-2521-1185 (本人携帯)

FAX 086-426-3756

E-Mail ashida@mbree-ckoj.jp



公式ホームページ



Blog



Instagram



あしだ Ch



新聞くらしきCh

自宅・事務所：〒711-0906

上東ベース：〒701-0111

議会控室：〒710-8565

倉敷市児島下の町7-1-31

倉敷市上東1016-4-110

倉敷市西中新田640(新聞くらしき控室)